



**香教組** リフレッシュのため十分な休暇がとれるよう市町教委や管理職を指導すること。

**夏期休暇や年次休暇の計画的取得の配慮について、市町教委に通知した**

り、校長会で指導したりしている。年休付与の開始

たことから夏休み中に年休は取りやすくなつたが、行事や研修も多く残つてゐる。大会やいろいろな作品の募集など、縮小や削減が必要なものがある。

今年、学校閉庁の期間が長くなつたところもある。県教委は学校閉庁の期間を把握している。学校閉庁の日数は各市町の判断によるもので網羅的には把握していない。

**部活動について****香教組**

三豊市では学校部活動地域移行プランを作成し、部活動の地域移行に取り組んでいるがいろいろな課題がある。保護者や生徒だけでなく、教員の意見を聞くなど民主的に進めてほしい。その面でのリードや市町への指導助言をお願いしたい。

中である。令和7年度までが国の部活動改革期間だがこちらとしては国に対して令和8年度以降の方針、予算措置を求めている段階である。今、さまざまな課題が見えている。県としては、教育長が集まっている部活動推進委員会も担当者のワーキンググループの会を行い、地域移行の課題を



はどのような頻度で行つてき冬休みに行つてき

た。少し前までは、効率的な基礎トレーニングやスポーツケアだった。これから効率的・効果的営みということでガイドラインでは平日2時間となつてゐる。2時間でなく1時間でも短時間で効率的な練習ができるよう情

報共有している。

**香教組** 効率的・効果的営みとしてガイドラインでは平日2時間となつてゐる。また、「総括コーディネーター」という地域移行に関わっているスポーツデータバンクに委託して、地域移行の全国の事例を紹介してもらつたり、それぞれの市町にヒアリングを行つて一緒に課題を解決していくというサポートをしてもらつたりしている。

**香教組** 短時間で効率的・効果的に活動を運営するためのスキル向上の研修会

7月3日、「平和憲法を生かす香川県民の会」「香川の教育をよくする県民会議」「民主教育を進める香川県民会議」「香川の子どもと教科書ネット」の4団体は連名で、県教委に對して「香川の未来を担う子どもたちにふさわしい平和憲法を生かした教科書採択を求める県民署名」1588筆を提出しました。

発言者名や発言内容を公開するべきだ。社会科の教科書のQRコードには防衛省・自衛隊のキッズサイトなどがあり慎重な取り扱いが必要だなどとの発言がありました。

**幅広い共同で県教委に署名提出****香教組**

高校の一人一台端末の公費負担継続を求める署名」1787筆を提出しました。公立高校のタブレット端末が2025年度入学者から個人購入になる方針に対しても、高校入学に際して保護者の負担がますます大きくなる、国のギガスクール構想にもとづくもので個人負担はおかしいなど反対の声を強く届けました。

6月30日、東京で全教青年部の「若者憲法集会2024」が開催されました。香教組からの参加者の感想を紹介します。

憲法学習交流会に参加して、改めて憲法の大切さやいかに私たちの生活を守ってくれているか、実感することができます。

特に、四谷姉妹の漫才を交えた憲法の解説が面白く、また分かりやすく、憲法を身近に感じることができました。(注・四谷姉妹は弁護士のコンビ、お笑い芸人「阿佐ヶ谷姉妹」にそつくりの衣装を着て、おもしろおかしく憲法を漫才で紹介しました)

また、防衛費増額の5兆円があつたら、小・中学校の給食費無償化ができ、大学の授業料無償化の予算に充てることができると知り、何に重点を置くのか、一度考えてほしいと思いました。

グループの交流会では、全教の方をはじめ、様々な方とお話ができ、ネットワークを広げるよい機会となりました。その中で、各県で軍事に関する動きがあることを知り、今回参加しなければ知らないままだったことが多くあることを実感しました。今後も、このような会を通じてより多くのことを学びたいと思います。

**県人事委員会に現場の声を届ける**

香教組は7月2日、香川県人事委員会(平尾敏彦委員長)と「賃金引き上げなどに関する要求書」を提出し、交渉を行いました。

石川香教組委員長は、月の時間外労働時間が100時間を超える教員もあり、働き方改革は進められているが多忙な状態が続いている。病休などの代替の教職員が確保できないなどの学校現場の状況を説明しました。

そして、必要な教員確保のため教員賃金を抜本的に引き上げること。全世代の賃金水準を引き上げること。教職員定数増を行うこと。暫定再任用教職員を定数外に位置づけ、同一労働同一賃金の原則にたち、賃金は定年延長者との均衡を図ることなど現場の声を届ける

形で要求しました。

人事委員会の委員からは代替講師が確保できぬ状況、若年退職の状況について質問がありました。(写真は県人事委員会平尾委員長に手交する香教組石川委員長)



**県教委** 今年、学校閉庁の期間が9月1日になつたことから夏休み中に年休は取りやすくなつたが、行事や研修も多く残つてゐる。大会やいろいろな作品の募集など、縮小や削減が必要なものがある。

7月3日、「平和憲法を生かす香川県民の会」「香川の教育をよくする県民会議」「民主教育を進める香川県民会議」「香川の子どもと教科書ネット」の4団体は連名で、県教委に對して「香川の未来を担う子どもたちにふさわしい平和憲法を生かした教科書採択を求める県民署名」1588筆を提出しました。

今年は中学校の教科書の検定・採択の年です。提出行動の中でも、戦争には加害と被害の両面があるが両方を知ることで戦争の本質を知ることができる。現場の教員は教科書の展示会に行けない。教科書採択の「審議会議事録」にはよくする県民会議」は「県立

引き続き、「香川の教育を